

NEW!

✓ 中学校教諭一種免許状（理科）

✓ 高等学校教諭一種免許状（理科）

✓ 高等学校教諭一種免許状（工業）

「工業」に加えて、
新たに「理科」の教員免許状も
取得可能になります

“ 教員 ” を目指す “ 技学 ” を極めた

1 未来社会への貢献

POINT



「技学」-技術科学-の教育研究を行う本学では、自然科学を工学に活かすセンスを備えた教員を育てます。生徒たちの自然科学への興味を、産業を支える技術に結びつけ、進路選択の幅を広げます。教職課程では、生徒のキャリア発達を支える教員を養成し、未来社会の持続的な発展に貢献します。

2 「理論」と「実践」の往還

「理論」:充実の専門教育により、現代社会の教育課題に対応できる高度な教科専門性を身に着けます。「実践」:教職課程における実践的な教育により、教科専門性と教育実践性を統合した、指導力を備えた教員を養成します。両者の往還の中で、一人ひとりの学生のニーズに応じた教育を行い、夢をかなえる後押しをします。

教職課程（理科）の科目等履修例

	1年目	2年目	3年目	4年目
「教職課程科目等」	教職論	教育心理学	道徳指導法	教育実習
		教育原理	特別活動論	教職実践演習
		教育課程論	教育法規・政策論	
		総合的な学習の時間指導法	教育学・方法論 (情報通信技術の活用を含む)	
	理科教育法I	特別支援教育論	教育相談の基礎	
		理科教育法II	理科教育法III	
			理科教育法IV	
			介護等体験	介護等体験
	専 門 科 目 / 専 門 基 礎 科 目			

※教職課程(工業)の履修については、特例があるため、入学後のガイダンスにて説明します。

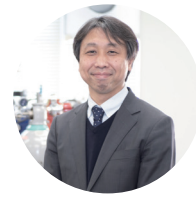


国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

問い合わせ先

長岡技術科学大学学務課教育交流係
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1 / TEL 0258-47-9244
<https://www.nagaokaut.ac.jp/>

先生からのメッセージ



物質生物系
本間 剛 先生

自然科学の理解力と工学における 独創性を兼備する教員養成

物質生物工学分野では令和4年度の大学の改組を契機として、これまで学内外からご要望のあった理科の教職課程に対応したカリキュラムを整備しました。学部1年からの入学者はもちろんのことですが、高専本科からの編入生が履修することを想定したモデルも構築しています。

専門科目では基礎的な内容に加えて社会実装に向けた最先端の研究について授業や研究で学ぶことができます。例えば私の研究では世界初となる全固体電池を共同開発しています。レアメタルを用いておらず、電池の作製にはロボティクス技術を活用しており、理科の基礎と最先端の工学を駆使した研究を推進しています。

中学校の教員免許はすべての教職科目が必修となりますので、計画的な科目の履修が必要となりますが、自然科学の理解力と工学における独創性を兼備する教員が本学から輩出することを期待しています。

在学生の声



2年 塚田 瑠奈さん

履修する価値のある授業

私は、高校時代にサイエンスクラブの活動で初等教育向けの教育教材の開発を行っていたため、将来は教育業界に行き、教材開発・教材研究をしたいと考えています。そのために、教職の知識が必要であると思い教職課程を履修しています。

教職課程で学習することは、教育の基本的なことはもちろん、生徒指導や総合的な学習の時間の指導法、教科の指導法など多岐にわたります。

教員免許を取得するためには、普通の授業の単位に加えて教職の単位を取得しないといけないため当然大変ではありますが、それ以上に得られるものも多いです。特に印象に残っているのは教育心理学の授業で、人間の発達と学習に関する知識は教職に必ず就くと考えていなくても、履修する価値があります。

教員採用試験合格者の声

2023年度 北海道教員採用試験合格 高等学校工業
4年 高松 慶汰朗さん

多様な生徒に寄り添える教員を目指したい

私が教員を目指そうと考えたのは高専4年生の時でした。民間企業へのインターンシップ経験を通じて一般企業への就職を考えましたが、「もう少し専門的に学びたい」「教員免許も取得してみたい」と思い、大学進学を選択。長岡技術科学大学に編入して、教職課程を履修しました。特に印象的だったのは、新型コロナウイルスの影響により日々オンライン授業が増える中、教職科目は対面授業もあったことです。講義を直に受けることで、先生方から様々な知見をリアルに得ることができ、今後自分自身がどう生きていきたいのかを深く考えるようになりました。やがて「生徒の成長をより近くで感じ、多様な生徒に寄り添って仕事をしたい」という気持ちが芽生え、教員採用試験への挑戦を決めました。

来年度から教員として働くことが決まりましたが、日々の努力と多様な生徒に寄り添いたいという「芯」を忘れず、ある意味で「教師らしくない教師」を目指して頑張りたいと思います。

